

2023 ULTRA PROJECT

日野町プロジェクト | dot architects

■プロジェクト内容（予定）

建築家ユニット「dot architects」と共に、22年度にプロジェクトで竣工した滋賀県日野町のオフグリッドサテライトオフィスと、ウルトラファクトリーを拠点として、日野町の調査と、工芸工房やギャラリーなどが併設された小規模多機能施設「日野工房」の設計を行うプロジェクトです。今年度は日野の歴史を尊重し、暮らしを支えている自然と、農業や行事や建築をはじめとする人々の営みとの様々な繋がりを調査することを考えていますが、プロジェクトメンバーで話し合い、自主的に日野での新しい活動を立ち上げることも可能です。さらにドットアーキテクツの他のプロジェクトに参加することもあります。

実施期間 2023年5月～2024年2月

活動場所 ウルトラファクトリー、滋賀県日野町

活動日 プロジェクトの活動日はプロジェクトが始まってから
すり合わせしていきます。学外での活動もあります。

■スケジュール

4月10日（月） エントリー〆切（13時まで）

4月24日（月） 17:00～ 面接（申込者全員）@Zoom

※面接結果は1週間以内にメールにて連絡

5月25日（木） 18:30～ キックオフミーティング

@ウルトラファクトリー

※上記は現時点での予定です。変更の可能性もありますが、
各自スケジュールは空けておいてください。

■単位認定

なし

■募集人数

6名程度

■応募方法

エントリーフォームより必要事項（志望動機/自己PR）を入力し、応募してください。ディレクターとの面接実施後、メンバーを決定します。

※エントリーフォームへは、特設サイトプロジェクト一覧の末尾にある
【ウルトラプロジェクトのエントリーはこちら】から

■面接について

面接詳細はエントリー〆切後に、メールにて連絡します。

面接はオンラインで実施します。面接前までに、ポートフォリオを用意しておいてください（提出方法は別途お知らせ）。

■応募にあたって

このプロジェクトは、まだ不確定なところも多いため、内容や打ち合わせの日時などが流動的です。もしかするとしばらくお休みの期間があるかもしれません。そのあたりをご理解いただき応募をお願いします。

■お問い合わせ

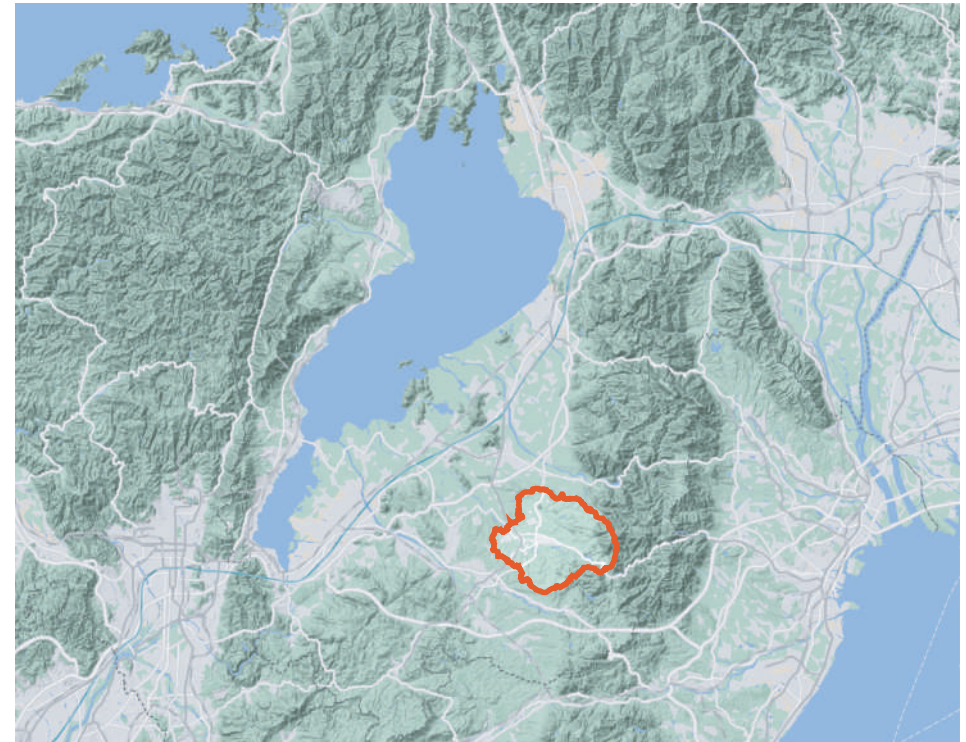
不明な点や質問は、ウルトラファクトリー オフィス（清水・浦田）まで。

TEL 075-791-8482 Email ultrafactory@office.kyoto-art.ac.jp

日野町 PROJECT

本プロジェクトは、滋賀県日野町に工芸を中心とした小規模多機能施設を建設し、産業の創出と地域づくりを行うことを目的としています。

日野町は、滋賀県の東南部、鈴鹿山脈の西麓に位置する東西 14.5 キロメートル、南北 12.3 キロメートル、人口約 22,000 人の町です。東にそびえる鈴鹿の霊峰・綿向山を水源とする日野川や竜王山を水源とする佐久良川に開けた農地では、近江米を中心に原産の日野菜などの栽培などが営まれています。歴史や伝統は、800 年の歴史を誇る湖東地方最大の春祭である日野祭、戦国時代の名将蒲生氏郷公が築き上げた城下町の町並みとその面影を残すほか、江戸時代に漆器や薬売りの行商により全国各地で活躍した近江日野商人の精神が今も町の気風としてしっかりと息づいています。



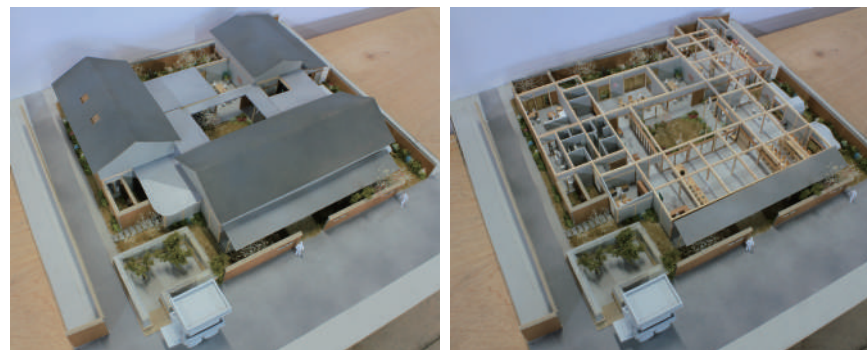
日野町 google map 引用



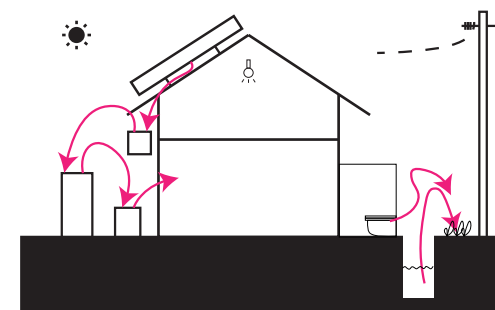
日野町 街並み

日野町は江戸時代には全国的に名前が知られた漆器ブランド「日野腕」を展開した場所であり、木地師発祥の地でもあることから、工芸を中心とした小規模多機能施設を建設することにより、産業を含めた地域づくりを行う場をつくりまします。具体的には、作家の工房、作家の住居、ギャラリー、物販、飲食スペースを備えたものを建設予定です。ドットアーキテクト、滋賀県立大学陶器造一研究室学生有志、株式会社トノループネットワークスと協働していきます。

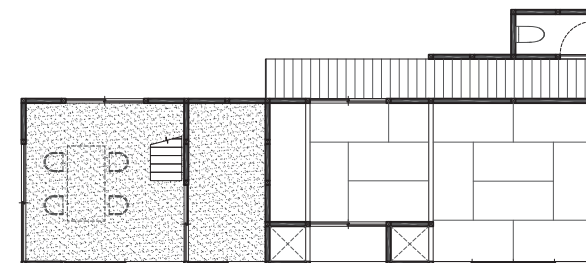
今年度は、ウルトラプロジェクトで昨年度に一部完成した日野町サテライトオフィスとウルトラファクトリーを拠点に、日野町の調査やサテライトオフィスのバージョンアップ、模型作成などを行っていく予定です。その他のドットアーキテクトのプロジェクトも一緒に行う可能性があります。



日野工房（仮） 建築模型写真



日野町サテライトオフィス コンセプト図



日野町サテライトオフィス 平面図

日野町サテライトオフィス 現場作業風景



dot architects

建築家ユニット。大阪・北加賀屋にて、アート、オルタナティブ・メディア、アーカイブ、建築、地域研究、サークル、NPO など、分野にとらわれない人々や組織が集まる「もうひとつの社会を实践するための協働スタジオ」コーポ北加賀屋を拠点に活動。

第 15 回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 (2016) にて審査員特別表彰を受賞 (日本館出展作家)。第 2 回小嶋一浩賞受賞。



Umaki camp
photo by Yoshiro Masuda



陶器浩一 (滋賀県立大学 環境科学部 環境建築デザイン学科 教授)
従来見出されていなかった素材の特性を解きほぐし、新たな空間の可能性を追求する研究と実践活動を行っている。「ものづくり、ひとづくり、みらいづくり」をテーマとして、土、竹、紙、木などの自然素材を用いて、学生や地域住民が自らの手で構築するワークショップおよびそこを舞台とした地域活動を継続して行っている。
受賞：2008 年 日本建築学会賞 (技術部門)，
2012 年 日本建築大賞 (日本建築家協会)，2014 年日本建築学会作品選奨 ほか



竹の会所



Tom Vincent / トム・ヴィンセント
Noriko Kawamura / 川村のり子
株式会社トノループネットワークス

近江商人発祥地である滋賀県蒲生郡日野町の築 240 年の旧近江商人宅を本拠地とし、企業や政府、自治体のコンセプト戦略づくりから、ブランディング、プロモーション及びメディアやコンテンツの制作などを行っています。